

2022年2月7日

各位

アートsparkホールディングス株式会社
代表取締役社長 野崎 慎也
(コード番号：3663 東証第2部)
問合せ先：取締役 伊藤 賢
電話番号：03-6820-9590

2022年1月度月次事業進捗レポートのお知らせ

2022年1月度の月次事業進捗レポートを下記のとおりお知らせいたします。

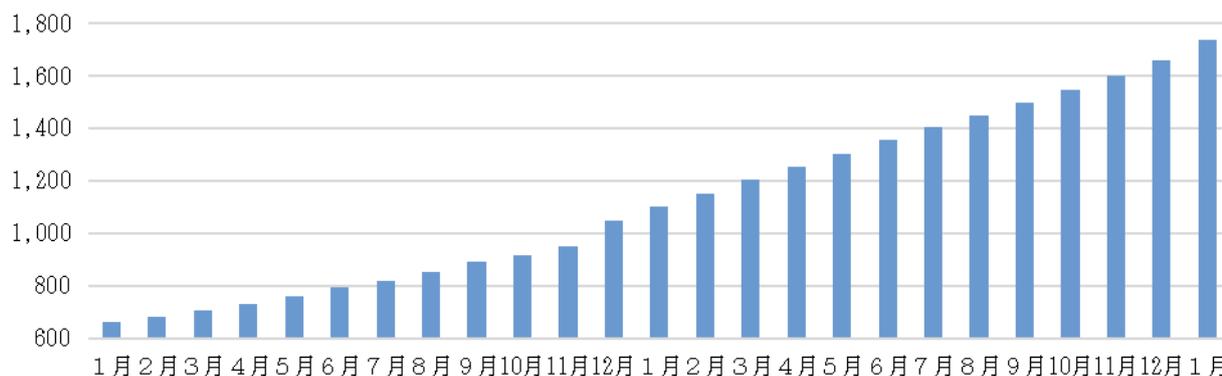
グループ各社のマーケティングやアライアンスなどの定性的な活動の情報は、当社ホームページに随時掲載しております。[\(https://www.artspark.co.jp/news/all/\)](https://www.artspark.co.jp/news/all/)

また、当社ホームページに掲載したIRに関するアンケートにお寄せ頂いたご意見を元に、今月より1. クリエイターサポート事業(3)「CLIP STUDIO PAINT」サブスクリプションモデルの契約数の表示を進捗率から実数に変更いたしました。皆様からのお声を参考にさせていただきながら、引き続き本レポートを改善して参ります。

記

1. クリエイターサポート事業

(1) 「CLIP STUDIO PAINT」累計出荷本数



(単位:万本)

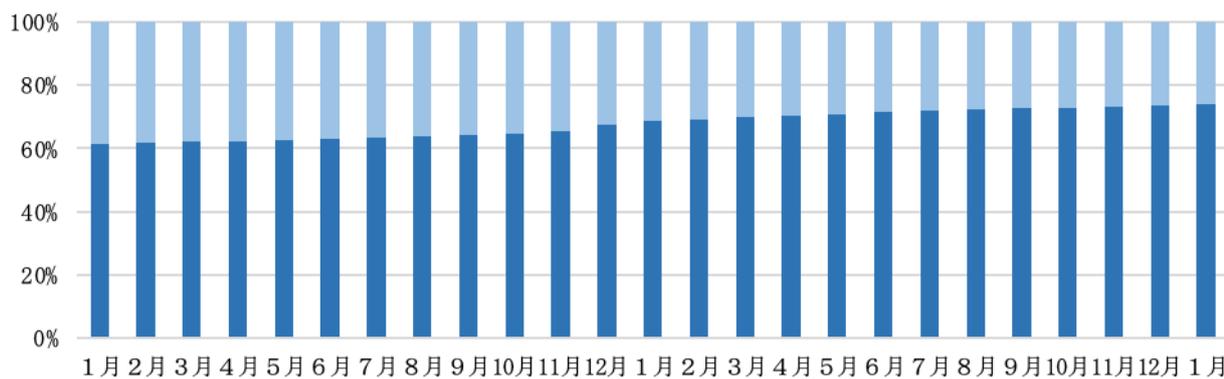
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	660	681	704	731	761	794	820	852	889	917	950	1,047
2021年	1,103	1,152	1,205	1,254	1,302	1,356	1,403	1,448	1,498	1,546	1,598	1,659
2022年	1,737											

(注)「CLIP STUDIO PAINT」が提供されている全てのプラットフォームの総合計です。体験版ユーザーおよびiPad版、iPhone版、Galaxy版、Android版、Chromebook版のインストール数を含みます。

<1月トピック>

- ① 「CLIP STUDIO PAINT」の全世界における累計出荷本数が1700万本を超えました。
- ② 強化したモバイルOSを対象としたプロモーションにより、出荷数が増加しました。

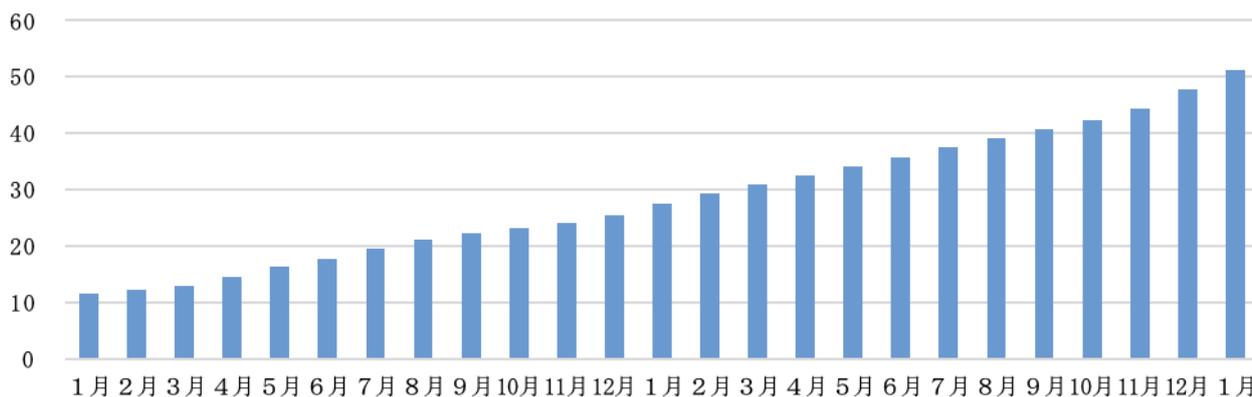
(2) 上記(1)「CLIP STUDIO PAINT」累計出荷本数の日本語と日本語以外の他言語の構成比率



(単位:%)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	日本語	38.8	38.4	37.8	37.7	37.5	36.9	36.7	36.3	35.6	35.2	34.6	32.4
	他言語	61.2	61.6	62.2	62.3	62.5	63.1	63.3	63.7	64.4	64.8	65.4	67.6
2021年	日本語	31.5	30.8	30.1	29.6	29.1	28.6	28.2	27.8	27.4	27.1	26.8	26.4
	他言語	68.5	69.2	69.9	70.4	70.9	71.4	71.8	72.2	72.6	72.9	73.2	73.6
2022年	日本語	26.0											
	他言語	74.0											

(3) 「CLIP STUDIO PAINT」サブスクリプションモデルの契約数 (進捗率から実数に変更)



(単位: 万契約)

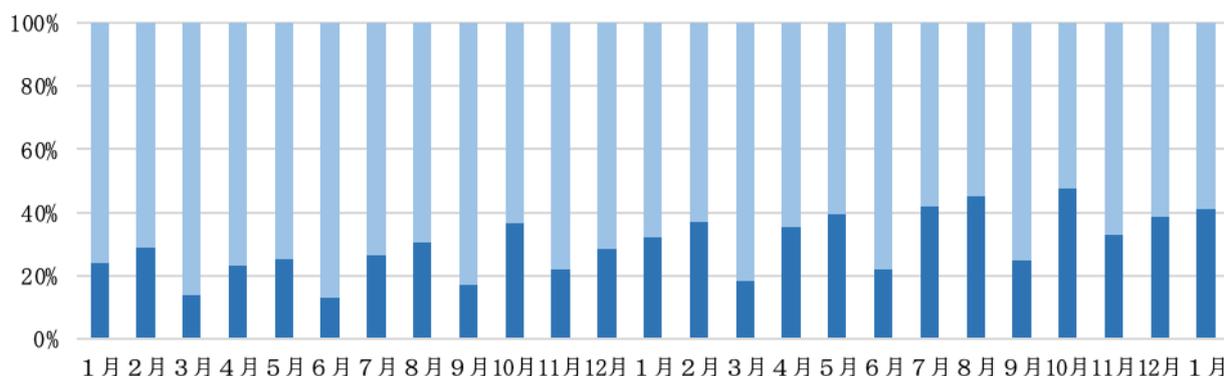
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	11.6	12.2	12.8	14.4	16.2	17.6	19.5	21.0	22.2	23.1	24.0	25.5
2021年	27.4	29.2	30.9	32.4	34.1	35.8	37.6	39.1	40.7	42.2	44.3	47.8
2022年	51.1											

(注) 「CLIP STUDIO PAINT」が提供されている全てのプラットフォームの総合計です。iPhone版、iPad版、Galaxy版を除いた先行無償期間の契約および、アクティベーションコード(タブレットなどのパートナー製品にバンドルされるものをはじめ、量販店等で販売する一意のコードのみが記載されているカード等サブスクリプションモデルのお支払に利用できる認証コードや、株主優待で利用されたアクティベーションコード)での契約を含みます。

< 1月トピック >

- ① サブスクリプション契約数が50万契約を超えました。
- ② ホリデーシーズンに引き続き、1月も「CLIP STUDIO PAINT」のアクティベーションコードがバンドルされたワコムのパンタブレット製品の出荷数が増加し、契約数が増加しました。(アクティベーションコードのライセンス期間終了後は、月額プランにて継続して利用いただけます)。
- ③ 2021年12月中旬から実施していた、将来のサブスクリプション契約増を目的とした無料体験キャンペーン期間が終了し、無料体験の利用者がサブスクリプション契約に移行した結果、契約数が増加しました。

(4) CLIP STUDIO PAINTの販売およびCLIP STUDIO サービスの利用料に占めるサブスクリプション
(サブスク) 売上の割合

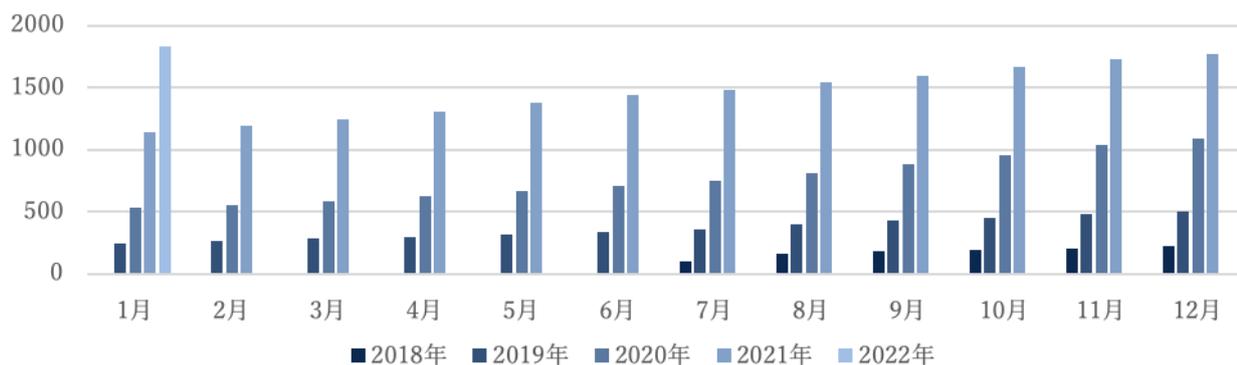


(単位:%)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	その他	76.0	71.3	86.0	76.8	74.8	87.0	73.7	69.5	82.9	63.6	78.0	71.5
	サブスク	24.0	28.7	14.0	23.2	25.2	13.0	26.3	30.5	17.1	36.4	22.0	28.5
2021年	その他	67.9	63.0	81.8	64.7	60.6	78.0	58.1	54.8	75.2	52.3	67.0	61.4
	サブスク	32.1	37.0	18.2	35.3	39.4	22.0	41.9	45.2	24.8	47.7	33.0	38.6
2022年	その他	58.8											
	サブスク	41.2											

(注) CLIP STUDIO サービスの利用料には、「CLIP STUDIO PAINT」で活用することを目的に「CLIP STUDIO ASSETS」で提供されている素材や、左手デバイス「CLIP STUDIO TABMATE」などの売上が含まれます。ハードウェア等にバンドルされる際のロイヤリティ売上は含まれません。

(5) CLIP STUDIO PAINTサブスクリプション売上の3か月移動平均ARR



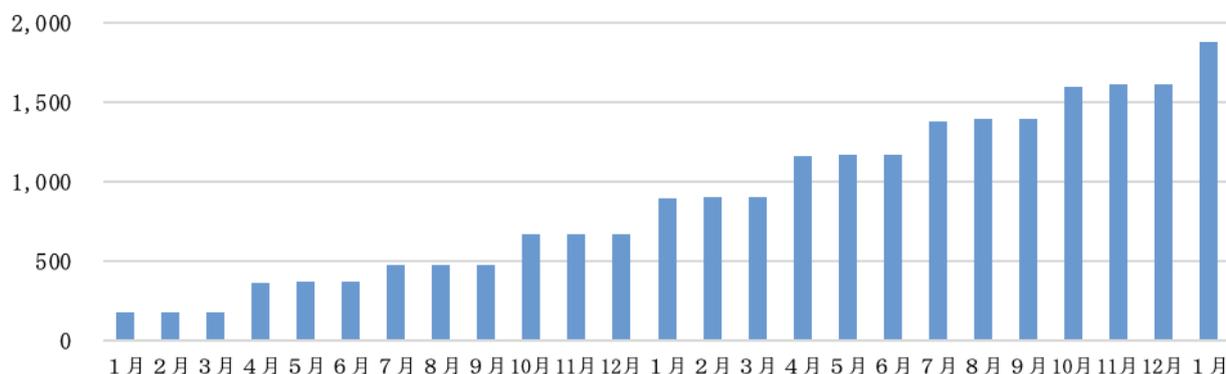
(単位:百万円)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年							98	165	182	191	206	222
2019年	240	259	280	299	318	334	356	393	424	453	481	503
2020年	530	556	585	620	668	710	752	811	882	959	1,032	1,084
2021年	1,144	1,191	1,242	1,306	1,380	1,436	1,480	1,538	1,595	1,660	1,725	1,768
2022年	1,834											

(注) ARR (Annual Recurring Revenue の略称で、契約更新のタイミングで全て更新される前提で、1年間で得られると想定される売上高) は、決裁手段により3か月毎に1か月の日数(通常月は28営業日、特別月は35営業日)に変動があること、四半期決算期末月毎に決算調整を行っていること等から、月次では金額が変動するため、3か月移動平均を採用しております。

2. UI/UX 事業

(1) 「CGI Studio」、「UI Conductor」の2020年1月以降の新規搭載台数の累計



(単位: 万台)

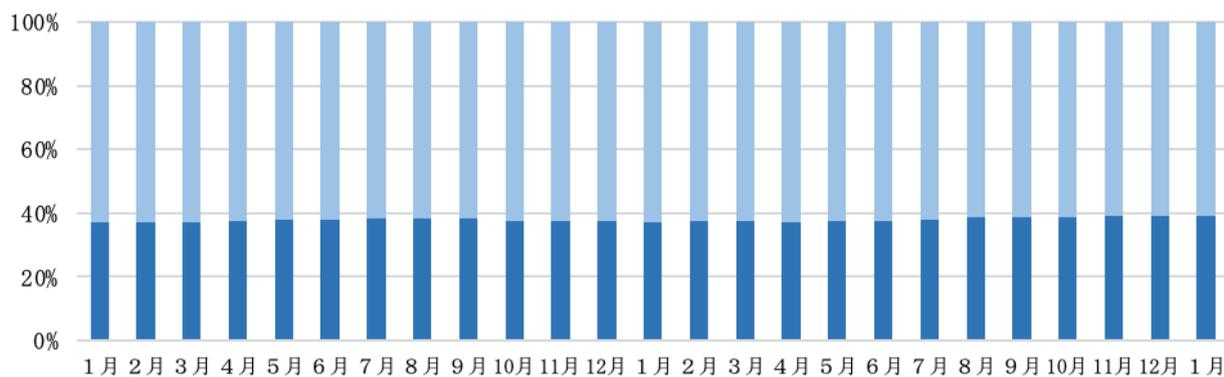
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	175	175	175	366	368	368	473	474	474	667	669	669
2021年	897	903	903	1,160	1,168	1,168	1,380	1,395	1,395	1,598	1,612	1,613
2022年	1,876											

(注) 契約により報告形態(月毎、3か月毎等)が異なるため月により搭載台数は変動し、1台当たりの単価も一定ではなく契約により異なります。また、業界も自動車業界に限りません。

< 1月トピック >

- ① 2022年1月度の搭載台数は、2021年10月から12月の出荷台数報告に基づいており、日本における新型コロナウイルス感染症の状況が一時的に落ち着き、顧客の半導体調達も順調に推移した結果、生産活動が活発化し、搭載台数が増加しました。
- ② 日本市場においてCGI Studioを利用した自動車関連製品の生産が本格的に始まり、搭載台数が増加しました。

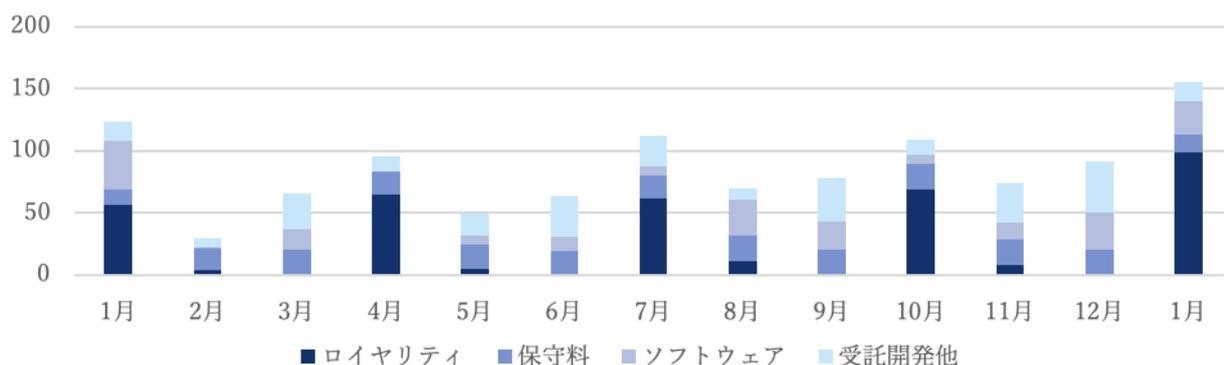
(2) 上記(1)「CGI Studio」、「UI Conductor」の2020年1月以降の新規搭載台数の累計の車載とその他(民生機器、産業機器)の構成比率



(単位:%)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	その他	62.9	62.7	62.7	62.4	62.0	62.0	61.7	61.6	61.6	62.6	62.4	62.4
	車載	37.1	37.3	37.3	37.6	38.0	38.0	38.3	38.4	38.4	37.4	37.6	37.6
2021年	その他	62.8	62.3	62.3	62.8	62.4	62.4	62.1	61.4	61.4	61.2	60.7	60.7
	車載	37.2	37.7	37.7	37.2	37.6	37.6	37.9	38.6	38.6	38.8	39.3	39.3
2022年	その他	60.7											
	車載	39.3											

(3) UI/UX 事業売上内訳推移



(単位:百万円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	受託開発他	15	7	28	12	18	33	25	10	35	13	32	41
	ソフトウェア	39	1	17	—	7	11	7	29	23	7	14	30
	保守料	13	17	20	19	19	19	19	20	20	20	20	20
	ロイヤリティ	56	4	0	64	5	—	61	11	—	69	8	0
2022年	受託開発他	15											
	ソフトウェア	27											
	保守料	15											
	ロイヤリティ	98											

(注) Candera GmbH の事業年度が毎年 10 月 1 日から 9 月 30 日であり、決算日が当社連結決算と 3 か月間の差異があることから、連結財務諸表規則第 12 条第 1 項但し書きに基づき、Candera GmbH の業績は 3 か月の差異を以って当社の連結業績に反映されておりますとともに、為替の換算レートは、1 ユーロあたり、120 円固定で換算しておりますので、連結業績とは差異が生じます。

「ソフトウェア」は、自社 IP 製品 CGI Studio、UI Conductor 等のライセンス販売です。

「保守料」は、販売したソフトウェアに対するメンテナンス等の料金です。

「ロイヤリティ」は、販売した自社 IP 製品 CGI Studio、UI Conductor 等が搭載された機器が、出荷された際に支払われる料金です。

「受託開発他」は、「ソフトウェア」を販売した際に発生するカスタマイズ等の料金やその他の売上です。

< 1 月トピック >

- ③ 2022年1月度のロイヤリティ売上は、2021年10月から12月の出荷台数に基づく金額で、日本における新型コロナウイルス感染症の状況が一時的に落ち着き、顧客の半導体調達も順調に推移した結果、生産活動が活発化し、ロイヤリティ収入が増加しました。
- ④ 日本市場においてCGI Studioを利用した自動車関連製品の生産が本格的に始まり、ロイヤリティ収入が増加しました。

以上